

新潟県 8期生



新潟県立柿崎病院長
藤森勝也

地域医療病院としての 新潟県立柿崎病院

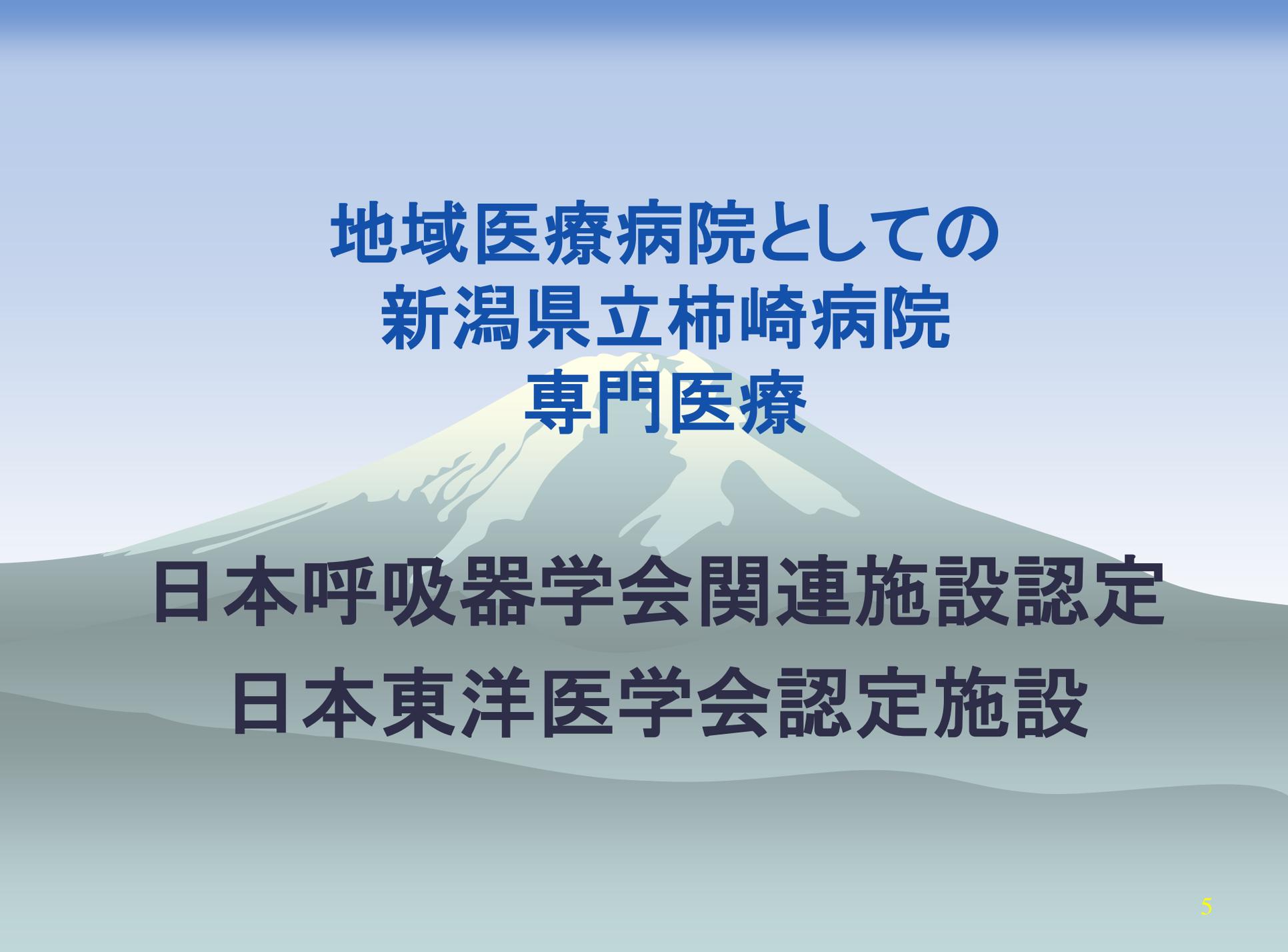
- ◆ 病床数 60床
- ◆ 診療科
 - ❖ 内科、外科、眼科、耳鼻科、整形外科、皮膚科、婦人科
- ◆ 常勤医師数 3人(自治医大卒業2名)
- ◆ 職員数 74人
- ◆ 年間外来患者数 約37,000人
- ◆ 年間入院患者数 約16,000人
- ◆ 年間時間外救急患者数 約 1,100人

病院の理念

患者様の立場に立った
良質な医療を提供し
地域住民の健康維持、増進に努めます

地域医療病院としての 新潟県立柿崎病院

- ◆ プライマリケア
- ◆ 専門医療に特化
- ◆ 保健・検診と医療の複合体
 - ❖ 人間ドッグ
 - ❖ 特定検診
 - ❖ 予防接種
 - ❖ 老健、特養との連携
- ◆ 急性期病院との連携
 - ❖ リハビリテーション室開設
- ◆ 地域づくりに役立つ
 - ❖ 地域活動に参加
 - ❖ 講演会
 - ❖ 院外報

The background of the slide features a stylized illustration of Mount Fuji, rendered in shades of green and yellow, set against a light blue sky. The mountain is centered and occupies the middle ground of the image.

地域医療病院としての 新潟県立柿崎病院 専門医療

日本呼吸器学会関連施設認定
日本東洋医学会認定施設

新潟県立柿崎病院

- ◆ 睡眠時無呼吸症候群の診断と治療の**専門病院**
 - ❖ 新潟県上越地区には、睡眠ポリグラフ検査を常時行っている病院は、**当院を含めて2病院**
- ◆ 気管支喘息、肺気腫、慢性気管支炎、気管支拡張症、慢性呼吸不全をみる**専門病院**
- ◆ 気管支喘息の早期診断のための気道過敏性検査
 - ❖ 成人でできるのは新潟県で当院のみ

咳の原因、喘息の早期診断に



専門医がわかりやすく解説

正しく 知って治す アレルギー

アレルギー最前線

新潟県内の専門医13人が、
アレルギーの予防と
治療をわかりやすく解説

県内の病院、医院のアレルギー科、
呼吸器科、内科、耳鼻咽喉科、小児科、皮膚科、
東洋医学科、薬剤科のお医者さんだから
実際に診察を受けられる、相談できる。
各専門医のプロフィールを紹介。
新潟日報の好評連載企画、待望の書籍化——

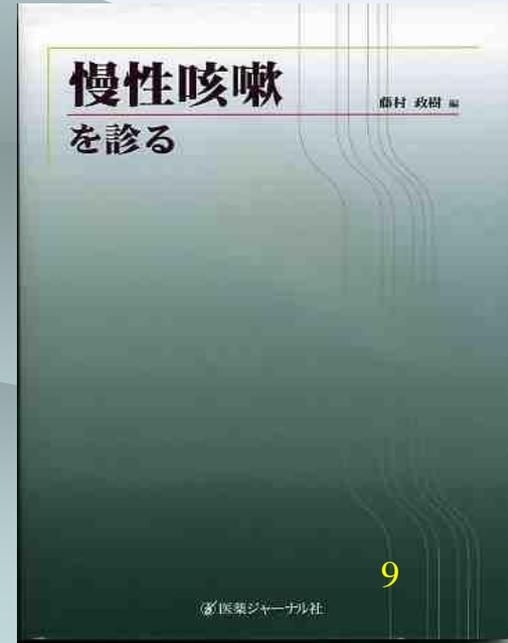
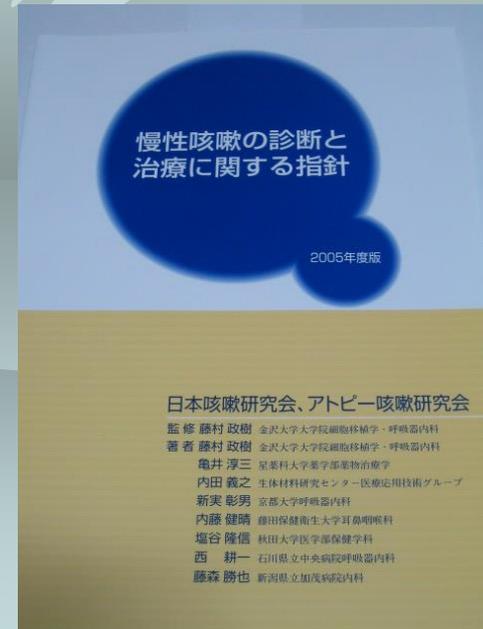
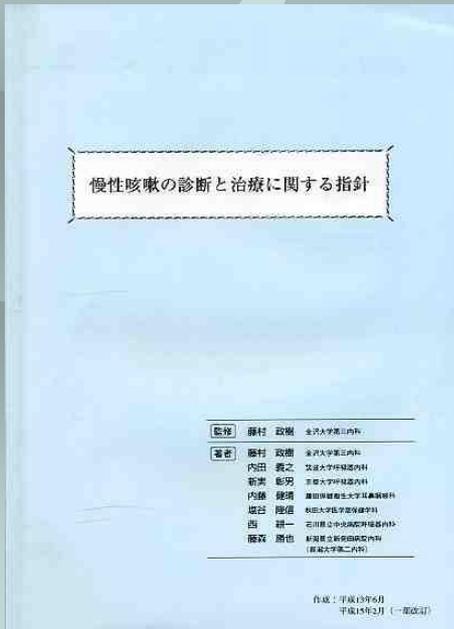
新潟アレルギー研究会 編著

新潟日報事業社



分担執筆

日本咳嗽研究会幹事 ガイドライン分担執筆





BSN「イブニング王国NEWS」
出演

「持続する咳嗽の診断と治療」

2008年1月15日18:16—放送

通信簿

体とこころ

やっかいなのは痰出ない「空咳」

風邪は治ったのに咳だけは長くない。そんなつらい経験がある人もいるだろう。

多い。抗菌薬の一種で治療するが、たばこを吸う人は、禁煙で良くなることもある。

金沢大学の藤村政樹准教授(呼吸器内科)は「風邪をきっ

やっかいなのは、痰の出ない「空咳」だ。よくある原因として、「アトピー咳嗽」と呼ばれるアレルギー性の咳と、ぜんそくの

断するのではなく、ぜんそくに使う吸入ステロイド薬で長期的に治療を続けることが大切で

り、場合によっては食ウム検査をしたりする。胃酸の分泌を抑えるトンボン阻害薬」と良くなることが多い。

かけに始まった咳でも、3週間以上続くようなら、別の原因を疑った方がいい」と話す。原因はいろいろだが、早めの治療が必要なケースもあるからだ。

「アトピー」が考えられる。「咳ぜんそく」の前触れともいえる「咳ぜんそく」が考えられる。症状で区別できないが、アトピー咳嗽が比較的治りやすいのに対し、咳ぜんそくは、本物のぜんそく

「胃食道逆流」が原因になることもある。空咳の場合、胃酸が逆流する

最近増えているとののが百日咳。文字通り間ほど咳が続く。大人間ほど咳が続く。大人間ほど咳が続く。大人間ほど咳が続く。

長引く咳

藤村さんは「そもそも咳は、痰などの異物が気管から出そうとする体の防御反応がよくなるなら、咳は正常に起きていることになり、咳を止める必要はない。咳を止める必要はない。咳を止める必要はない。

アトピー咳嗽なら、抗アレルギー薬などで使う抗ヒスタミン薬で良くなることも多い。一般的にぜんそくの治療に使われる気管支拡張薬で良くなれば、咳ぜんそくが疑われる。「たばこを吸う

「胸焼けや胸の不快感といった典型的な症状が見られないケースも多いので注意が必要ですよ」と話すのは呼吸器が専門の藤森勝也・新潟県立柿崎病院院長だ。藤森さんらの調査では、長引く空咳の1割前後が胃食道逆流が原因との結果が出ており、高齢者や女性に多い傾向がみられた。専用の問診票を使った

長引く咳には、まれに結核やがんが隠れている。ある。「たかが咳」と思っている。長引く咳には、まれに結核やがんが隠れている。ある。「たかが咳」と思っている。長引く咳には、まれに結核やがんが隠れている。ある。「たかが咳」と思っている。

朝日新聞本社の取材「長引く咳」

2008年4月22日掲載

長引く咳の原因は?

- ① 咳が3週間以上続く
- ② 痰がよく絡む
- ③ 鼻が詰まる。鼻汁が黄色い
- ④ アレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎などがある
- ⑤ 毎年同じ季節に悪化する
- ⑥ ACE阻害剤という高血圧の薬をのんでいる
- ⑦ たばこを吸っている
- ⑧ ペットを飼っている
- ⑨ 胸やけがある
- ⑩ 倦怠(けんたい)感やだるさがある

ドクター藤村の診断

咳が3週間以上続くと、風邪ではなく、別の原因が関係している疑いがあります。②は、ほとんど痰が出ていないのに、出ると思い込んでいる人も多く、注意が必要です。③は、副鼻腔炎が関係しているかどうかをみる項目。④、⑤、⑧はアトピー咳嗽と咳ぜんそくを疑う目安です。⑥は副作用で咳が出やすい薬であまり知られていません。⑨があれば胃食道逆流症を疑います。⑩に該当すれば、結核の可能性があるので、すぐに専門医を受診してください。

相談士

日本咳嗽研究会などが監修する咳のホームページ (http://netconf.eisai.co.jp/cough/society.htm) では、咳の簡単な情報のほか、咳を専門とする医師の一覧を載せている。金沢大の藤村さんらが監修した「慢性咳嗽の診断と治療に関するガイドライン」も参考にしてください。

食の健康学

ご飯がおいしいからといって、そればかり食べるのは体によくない。でも、ごはんもあ

「便秘がち」と判定された。食習慣との関係を見たら、肥満につながりやすいとされた「ご飯

とる量の食物繊維で便秘を防げるかどうか、実はまだ、はっきりしていないんです。佐々木

ご飯③

便秘には強い味方

脱メタボ

「いつの間にか、菜な道を選んでいた」。100kg近い体重の減量に挑む山本勉さん(55)は、そんな感想を駅の階

「おきかひ」と妻に言われて久しい。めいりの寝るの休日でも、早く目が覚めてしまう。「睡眠時無呼吸候かもしれない」と不安になり先月、伯入院して検査を受け結果は立派な「中等症」。今月初めから、鼻にマスクつけて寝る治療を始めた。そんな体験をきっかけに、県内の機関や治療態勢を調べてみた。
 (遠藤雄二)



頭などに電極をつけられ、ベッドで横になる記者＝上越市の上越総合病院で

新潟県上越で 定期検査できる病院として 取り上げられる

検査した記者 48歳。身のためか効果はあまり出ない。鼻マスク使用は対症療法
 スポーツジムに通い、減量を
 医師からは「根本的な治療

ショック 1時間22回も 治療器で症状改

「このままでは危ない……」。最寄りのパーキングエリアで15分ほど仮眠する。

昨年末、高血圧の治療で通院している県厚生連上越総合病院の内科医に相談すると、「早く検査を受けた方がいい」と促された。

予約日の午後3時入院。夕方、臨床検査技師から頭や顔などに20個ほどの電極を付けられ、胸と腹部をベルトで巻かれた。寝ている間の脳波や呼吸の状態などを調べる装置だ。「睡眠ポリグラフ検査」と呼ばれる。

夕食後、本を読んで眠くなるのを待ち、午後10時半に消灯。未明に2度ほど目が覚めたが朝6時まで眠ることができた。

後日、示された検査結果に驚かされた。10秒以上の「無呼吸」や「呼吸

時間当たりの28回あり、睡眠中も脳や体に負担がかかっていたことになる。専門医からは「放置すると血管に負担がかり、

県内13病院で定期

県内の検査、治療態勢一筋のが特徴という。拠り、日本睡眠学会の「睡眠医療認定医で、新潟大から山秀章医師(44)に聞いて、県内13病院で定期検査を実施している。検査データをまとめて、ネットワーク化しては、年間約1800人以上、ネットワー

県立柿崎病院

県土が広い、各地の睡眠医療にかかわる医師十数人が「新潟睡眠障害研究会」をつくり、ネットワーク化しては、年間約1800人以上、ネットワー

睡眠ポリグラフ検査 定期実施病院

下越	県立新発田病院
	新潟大医歯学総合病院
	国立病院機構西新潟中央病院
	新潟臨港病院
	日本歯科大新潟病院
佐渡	木戸病院
	佐渡総合病院
中越	長岡中央総合病院
	刈羽郡総合病院
	県立加茂病院
上越	立川総合病院
	上越総合病院

2008.05.11

睡眠時無呼吸症候群 上越市住民に講演



肺炎球菌ワクチン

- ◆ 平成19年
- ◆ 新潟県立柿崎病院は新潟県でもっとも肺炎球菌ワクチンを接種した病院になった



電話



受付



玄関風景



医事
(受付)

外来待合

2
外科和
形外科
整形皮膚科

外科和
形外科
整形皮膚科
受付

外科担当医師
外科皮膚科
月 鈴木 茂
火 鈴木 茂
水 鈴木 茂 濱田正明
木 鈴木 茂
金 鈴木 茂 新潟労災病院
整形外科 新潟労災病院 午前

お知らせ
8月1日(金)皮膚科外来
都合により休診となります。
尚 院

外科受付



米山から見た日本海



米山山頂から
中越沖地震
柏崎



尾神岳

往診路





在宅酸素療法

在宅人工呼吸療法 と 在宅酸素療法



上越保健所にて 肺機能維持のための日常生活 講演



地域で講演会



企業で健康講話



高校でキャリアアップセミナー



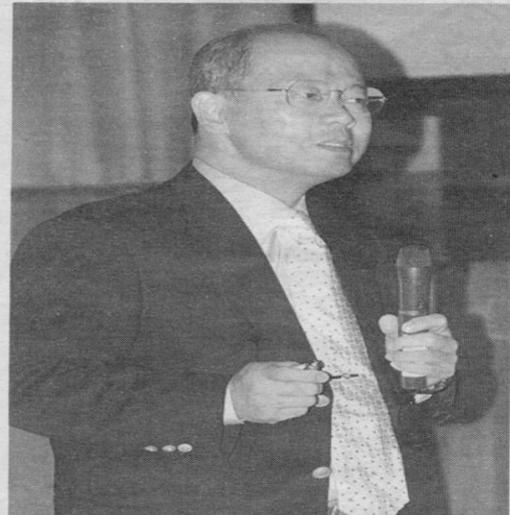
“生き方”熱く伝授

柿崎病院長
の藤森さん 久比岐高で講演

県立柿崎病院にこの四月、着任した藤森勝也病院長は、地域貢献と病院の存続をアピールしようと、企業や地域団体に向き医療講演を行っている。十六日午後は、県立久比岐高のキャリアセミナー講師に招かれ、自らの生い立ちや医師としての使命感を語った。

「いまの一月月の時間外労働は百時間を超えている。過酷だが長続きするのは、自分がやりたいと決めたことから」。熱く語る講師に、シラケ世代と言われる若者たちの顔が前を向き始めた。藤森さんは、勉強嫌いだっただ小学生時代、高校一年のときの母との死

別、父の転勤のため妹と二人で実家に暮らした体験。学費無料の自治医科大学に入学し、アルバイトにも精を出した、と自分史をふりかえりながら、ここ



明るくひたむきな生き方を伝授

ぞというときには懸命に学び、働くことの大切さを語った。

いる「どんな仕事も倫理を貫くべき。仕事に一点の曇りもあってはいけない」と言い切り、高校生たちに明確な指針を授けた。

早朝出勤し、外來や往診、病院経営もこなす今の生活を「仕事は苦しくても、喜んでくれる人が

上越市柿崎区産業まつり

なす支店

産業まつりで体の数値チェック

柿崎病院スタッフ出張

柿崎区

柿崎区の産業まつりに「フが出張し、血圧測定や
は県立柿崎病院のスタッフ」が出張し、血圧測定や
体脂肪測定、栄養指導な

23日に藤森院長
が健康講演

藤森勝也柿崎病院長は
二十三日午前十時から同
十一時まで、柿崎地区公
民館で健康講演を行う。
テーマはインフルエン
ザ。病気の特徴、検査や



院内勉強会



衛生士検査の実践方法

- 試験本
- 学習
- 試験本
- 試験本の活用方法

※ 試験本は試験本として活用されていること



理学療法士によるリハビリ

高校生による体験学習





防災訓練



患者急変時の対応 訓練

A middle-aged man with glasses and a white turtleneck shirt is seated in a grey office chair. He is looking directly at the camera. The background is an office desk cluttered with papers, folders, and boxes. One box is labeled 'Mucosta' and another folder has 'Fujimori' written on it. The lighting is somewhat dim, typical of an indoor office setting.

お年寄り、自然、温泉、テニスの好きな
8期生 院長



やさしく、親切な
診療部長

A man with dark hair, wearing a white lab coat over a white t-shirt, is sitting on a dark brown couch. He has a stethoscope around his neck and a red lanyard. The background is a plain, light-colored wall.

やさしく、モテモテの
内科医長
新潟県21期生

自治医大学生 歓迎会



研修医を入れての 病診連携の会



頸北

頸北支局 / 〒949-3216
柿崎区柿崎415-18
TEL025-535-2188
FAX025-535-2187

身近な情報
話題を
お寄せ下さい

理念もはつきりと

「病院だより」発行

県立柿崎病院

県立柿崎病院（藤森勝也病院長）は昨年十二月に患者や地域の人々に向けた広報紙「柿崎病院だより」を発行した。同年

四月に着任した藤森院長は、「地域医療病院」に位置づけられた柿崎病院の使命をより具体的に実現しようと、訪問診療や訪問看護の充実はもちろん、自ら時間を工夫し地域での医療講演にも率先し行動。いまや一般的に「編集委員を募り、発行に

月、少なくとも季刊の発行を目指している。記者すべき第一号はA4判一枚。裏の面には発刊の辞に替えての院長「こゝろ」。「患者さんの立場に立った良質な医療を提供し、地域住民の健康維持・増進に貢献」など、コンパクトな面と多岐のアスタとで、

献し、と、はつきり理念を打ち出した。裏面は編集委員の原稿を持ち寄った「健康ワキチン」のコーナーも、調査の紹介や診療日程の変更など、積極性を増している。積極性を増した病院からの働きかけが、地域に浸透していき、注目される。

感染症を予防する
健康ワキチンをご存知ですか？

忙しい業務を縫って編集した第一号

「病院だより」発行 2008.01.09

頸北

頸北支局/〒949-3216
柿崎区柿崎415-18
TEL025-535-2188
FAX025-535-2187

外国製・国産
全車取扱オートバイ専門店



マニアの店 有田中商会
Tanaka
Motos Cycle Shop

上越市新栄町
TEL(025)543-9867

授業にテレビ会議システム

県立柿崎病院 の藤森院長 地域医療を講義

新大医学部学生に

県立柿崎病院の藤森院長が十六日午後、テレビ会議システムを通じて新潟大学医学部四年生に講義した。これまでも大学の医師らとの症例検討

に利用しているが、授業にシステムを使うのは初めて。この日は臨床実習の一環として「地域医療」がテーマに。柿崎病院の医療活動を例に具体

的に理念が伝えられた。藤森院長は、地域の疾病構造に病院側が積極的に介入し改善を施すことが地域医療、と定義。死亡原因の上位四つのうち、訪問診療や予防ワ

ち、がん治療は大病院が行うが、心臓疾患、脳血管障害、肺炎による死亡は適切な治療や予防活動で減らすことができる

と、訪問診療や予防ワ

チン接種の呼びかけの活動を紹介した。それらの項目をフリップや映像を



一人でカメラを動かしながら授業

新潟大学学生に「地域医療」の講義 2008.01.16

診療で心に温ぬくもる。柿崎病院

地域医療病院としての 県立柿崎病院

- ◆ プライマリケア
- ◆ 専門医療に特化
- ◆ 保健・検診と医療の複合体
 - ❖ 人間ドッグ
 - ❖ 特定検診
 - ❖ 予防接種
 - ❖ 老健、特養との連携
- ◆ 急性期病院との連携
 - ❖ リハビリテーション室開設
- ◆ 地域づくりに役立つ
 - ❖ 地域活動に参加
 - ❖ 講演会
 - ❖ 院外報

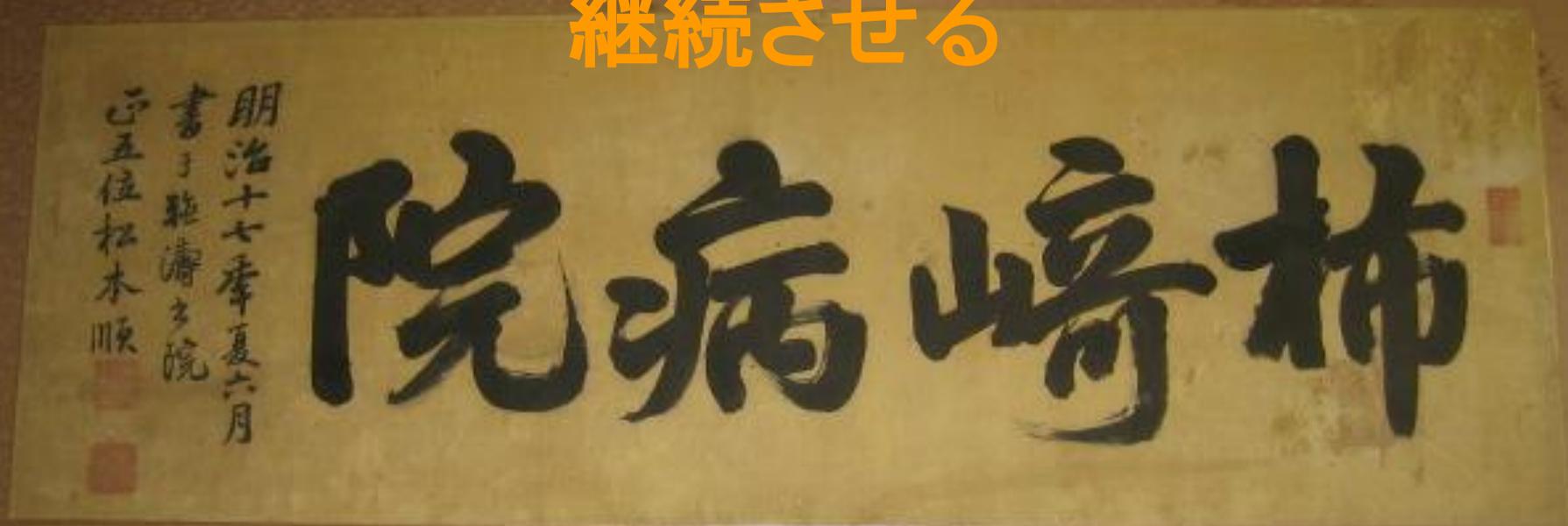
地域に脈々と流れる地域医療は
止まず

流
不
息

乃
柿崎病院
君健男書

君健男書

明治から続く
伝統ある地域医療病院を
継続させる



応接室



地域に役立つ柿崎病院 でありたい



職員一同の願い

柿崎病院
職員一同
の願い
息不水流

